



① 導入の概要をイメージしよう

リユース食器の種類

一般に利用されているリユース食器には、コップ、皿、お碗の他、箸、スプーンなど約15種類あります。出店者の提供する食べ物に合った食器を選ぶことができます。

使い捨て容器では提供しづらい、おでんやラーメンなどの汁が多いメニューも、リユース食器では提供しやすくなります。リユース食器の導入で、提供できるメニューの幅が広がります。



① 導入の概要をイメージしよう

リユース食器を借りる

最も手間がかからないのは、リユース食器をレンタルし、会場で使用したあとは回収してそのままレンタル先に返却する方法です。食器を洗浄する必要はなく、手間は最小限で済みます。

借りて、使って、返却するだけ

借りる → 使用する → 回収する → 返却する

※「NPO 法人 Wave よこはま」は食器洗浄車の貸し出しも行っていきます。イベント会場で参加者にリユース食器の洗浄を見せることで、環境への「気づき」のきっかけとなる効果が期待できます。

横浜市内で実績のあるリユース食器のレンタル事業者

● NPO 法人 Wave よこはま (青葉区) <http://reuse~wave.sakura.ne.jp/>
その他、「リユース食器ネットワーク」の HP には、全国の団体・事業者が紹介されています。
<http://www.reuse~network.jp/>

● 費用はどのくらいかかる？

レンタルする食器の種類・数量によって費用が決まります。
 当日の販売予定数から、必要数を決めましょう。
 以下は、区民まつりの利用実績から積算した費用の参考モデルです。
※いずれも、回収率95%、使用率90%で試算

例1) 全店舗で、複数の食器を導入：約12万円

※全体店舗数：62店舗、食器類を使用する飲食ブース：10店舗（全10店でリユース食器を使用）
 ※リユース食器レンタル数：5,000個弱
 ※使用するリユース食器：カップ約1,200、どんぶり約1,200、皿約700、箸約1,600

例2) 全店舗で、一部の食器のみ導入

①カップ類のみリユース食器を使用（約1,200個）：各3~4万円
 ②お箸のみリユース食器を使用（約1,500個）：約2万円
 ※例1と同じイベント規模で試算しています。
 ①~②を組み合わせることも可能です。



例3) 一部の店舗のみで導入：約5~6万円

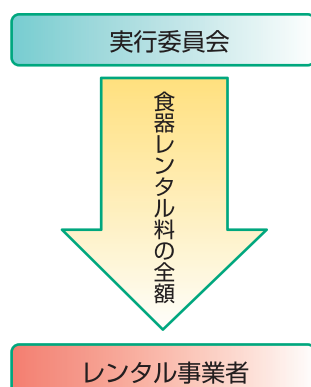
※使用店舗数：3店舗
 ※リユース食器レンタル数：約2,000個
 ※使用するリユース食器：カップ約1,000、どんぶり約500、箸約500

※下洗いしてから返却して、割安なレンタル料金で借りる方法もあります。その場合、費用合計は4~5割程度安くなります。

● 費用の負担は？

区民まつりでのリユース食器導入に伴う費用の負担は、以下のケースが考えられます。

① 実行委員会が負担



上記例の2、3のような部分導入の場合、既存の予算の中から費用を負担している区もあります。